

# SLA 通信

〒460 名古屋市中区正木1-2-8

シニアルネッサンス財団 内

第11号

☎ 052 332 7883

## 目 次

1. 創立記念日の開催決定 .....	1
2. 支え合う新しい生き方を求めて .....	2
3. 研究部会だより	
・身近な法律研究部会 .....	3
・カウンセリング研究部会 .....	4
・シニアの生き方研究部会 .....	4
4. 地域部会だより	
・南部会 .....	5
・三河部会 .....	5
・北部会 .....	6
・尾張部会 .....	6
5. 知ッ得コーナー .....	7
6. 老健見学記 .....	8
7. お便りコーナー .....	8
8. 働シニアルネッサンス情報 .....	9
9. 編集後記 .....	10

### 《全体研修会を創立記念日に開催！》

7月12日に開催の第3回幹事会で、創立記念日の行事を、今年を行うことに決定、秋の全体研修会も11月の予定を早めて創立記念行事と一本化し、10月2日（木）に行うことになった。

「10月2日」は、1994年、二期生を中心に中部SLA協会が発足した記念すべき日。95年には記念の催しを行ったが、昨年は何も行事はなかった。会員の中から「記念のため、何かした方がいい」との声が出て、今回の検討となった。

詳細は研修部と総務部で詰めることになっているが、全体を2部構成とし、第1部で講師を招いての全体研修、第2部で懇親を兼ねた創立記念会を開催することになりそう。場所はホテルや会館なども候補に上がったが、なるべく大勢が参加できるよう、経費のかからないライフプラザ伏見内の消費生活センターで、収容員数150人の大研修室を借りることで一致した。

# 支え合う新しい生き方を求めて

中部SLA会長・山下可子

今年度、皆様のご推薦を受けまして、中部SLA会長をお引き受けしました（5月発行臨時通信1）。会員の皆様のご協力を、ぜひ、よろしくお願いいたします。

## <心の絆>

定年退職後、8年目を迎えた私は、夫と支え合って暮らしています。毎月第一日曜日に、二人の息子夫婦と孫達が集まって祖先の供養をし、9人が会食して健康を感謝するひとときと、近隣との触れ合いと、『実家の父がのこしてくれた言葉』が、私の生きる原動力になっているように思います。

## <父のメッセージ>

実家の父は88歳で亡くなる前に、在職中の私に向かって、繰返し言いました。『60歳までは社会に育ててもらうのだから、60歳を過ぎたら肩書ははずして、一市民になって、当然社会へお返しをする。家族の理解を得て趣味に生きる。その心意気が大切だ』と。この父の心のこもったメッセージが、カウンセリング継続研究と、シニアライフアドバイザー養成講座受講のきっかけにもなりました。

現在私は、在職中から尊敬し、意気投合している女性染色作家と、その仲間に支えられて趣味に生きながら、愛知県社会福祉協議会相談員として愛知県内の40歳以上の方々の相談に応じています。人とのかかわり、インテーク、カウンセリングにあたっては、慎重に、いつも父からのメッセージと、新任当時の上司の励ましの数々を反すうしています。

## <仲間と共に生きて>

1994年、10月2日（創立記念日）、中部SLA協会は88人の仲間が発足、財団の理念を継承するこの会の会員になって、すばらしい仲間と巡り遭いました。今、会員数は198人（4月21日現在）です。

今年度は今までの実績をふまえて『地域』に着目し、次の活動の方向性を掲げました。

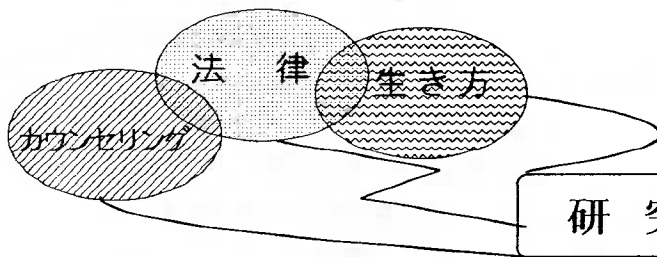
- ①地域に根ざした実践活動を推進する。
- ②暮らしに役立つ情報の収集、研究の充実、実践化を心掛ける。

去る5月、幹事会から発信した情報に、会員の皆さんは速やかに返信してくださいました。（回収率89%）。皆さんの意思表示をもとに企画した、3つの研究部会と6つの地域部会がそれぞれ、研究・実践活動に入りました。

今年度は富山県からも地域部会へ入会がありました。5期生稲村忠雄さんです。『富山県は今、会員は一人ですがこれから輪を広げます！』という、うれしい内容のお便りを頂戴しました。これこそSLA活動本来の活動拠点となる、居住地での活動につながると思います。

今後は居住する地域の活動について情報交換し、まず『会員が共に生き生きと生きる実践活動をする』ことを土台として、地域の方々と支え合う努力をしたいと思います。

ささやかでもいいから、温かい気持ちと笑顔で、『自助・自立を願う地域の高齢者』をバックアップするアドバイザーの本来の目的に沿った活動の輪が広がってほしい。『心の安定はまず家庭から、そして近隣、地域へ！』……地域部会に参加する努力から活動の道は開けていくと思います。



## 研究会だより

第1回は6月24日(火)に三つの研究会が開催されました。参加者の中には初めて研究会に参加した方も多く、方針と進め方の話し合いで終わったようです。7月22日の第2回は、本格的な研究活動に入ったと思いますが、残念ながら会報には間に合いませんでした。それぞれの第1回の会合について、ご紹介します。

### 身近な法律研究会

参加人数：23人

研修委員：青井久子

記録：尾関恵子・松田洋子

会計：奥山裕子

役割決め、自己紹介のあと、今年度の活動、毎月1回の例会について話し合った。

・ **どんなことが研究したいか**

法律相談◇年金関係◇介護保険◇暮らしと保険について具体的に学びたい

親の介護を法律的に勉強したい◇相続の手続きなど◇その他巾広く勉強したいなど

本筋から離れないようにとの意見もあった

・ **講師に対する希望**

年金をわかりやすく教えてほしい(岡副さんに依頼)

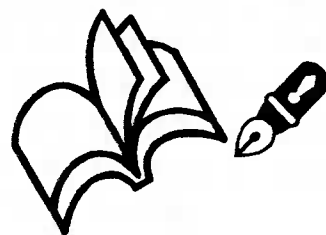
介護保険を昨年と違う人に依頼して欲しい

親の介護、相続の手続きなど(北村先生に)

・ **テキスト「法律相談Q&A」による勉強会を以下の順に行った。**

- 1 法定相続の仕組み
- 2 遺言の方法
- 3 遺産の相続と手続き
- 4 息子の嫁への遺産相続
- 5 お墓の継承・相続人がいない場合

- 6 亡父名義の土地をそのままにしているが
- 7 亡父の遺言が不満
- 8 生前贈与も相続財産になるか
- 9 一人暮らしのお年寄りの遺産はどうなるか
- 10 借金も相続財産となるか
- 11 禁治産宣告が必要なとき
- 12 扶養請求の調停申立て
- 13 扶養を条件に生前贈与したが、面倒をみてくれない
- 14 息子の債務に親の支払い義務は
- 15 連帯保証人になったが
- 16 隣地との境界
- 17 一方的に借家の明け渡しを請求された
- 18 借用書のない金の貸し借り
- 19 訪問販売のトラブルで困っている



## カウンセリング研究部会

参加人数：23人

部会長：掛札保雄

書記：木村秀子・水野醇子

会計：青柳よ志子

世話役を決め、自己紹介に続き、アンケート調査を行い、本年度の研究活動の進め方を協議した。

カウンセリングの基本から学ぶことを望む方が多いため、以下の様に進めることとする。

### タイムスケジュール

7、8月＝カウンセリングの基本である心理学を学習

9～12月＝カウンセリングの基本を、実例を取り入れながら研究

1～2月＝心の悩み、困っている出来事についてケーススタディ

3月＝1年の研究成果を総括する

### 研究方法

- ①基礎理論（わかりやすく解説されているテキストを使う）
- ②事例検討（基礎理論を深める為に理論展開の過程で事例を取り上げる。どのように傾聴し、理解し共感し、フィードバックをするかを、実際の場面を想定し、演技的に研究する）
- ③コメント（カウンセラー経験者からコメントをいただいで研究を深める）

（報告：掛札・木村・水野）

## シニアの生き方研究部会

参加人数：15人

部会長：竹内くに子

書記：西田時子・藤井洋子

会計：中野明美

〔今年度方針〕

部員全員が同じ土俵の上で考え、勉強しあいすすめていく。

家庭や地域で実践につながるよう、努力し確認し合っていくことを目的とする。

### 5つの柱

お金の設計

健康の設計

食生活の設計

生き方の設計

おしゃれの設計

以上の事柄を中心に、少人数に分かれて討議しグループ毎に発表する。

研修部長がまとめる。

### <感想>

\*みんなで話し合っ進めていくやり方に賛同し、私自身も受け身でなく、積極的に実践して行きたいです。

（西田時子）

\*参加者は5期生が多く、私も初めての参加でした。全員の生き甲斐について聞かせていただき大変教えられました。

（藤井洋子）

### 研修部から

研修部の今年度の予定が下記のように決まりました。今年は第4火曜日を原則としますが、祝日などと重なる場合には変更になります。

8月から12月までの予定を載せておきますので、是非ご出席ください。

第3回 8月26日（火）

①身近な法律研究部＝10：00～11：30

第4回 9月30日（火）※第5火曜

②カウンセリング研究部＝12：30～14：00

第5回 10月28日（火）

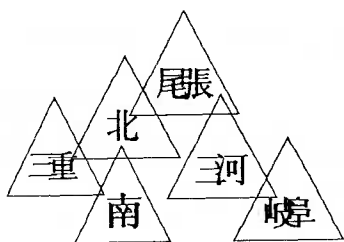
③シニアの生き方研究部＝14：15～15：45

第6回 11月25日（火）

第7回 12月16日（火）※第3火曜

場所⇒ライフプラザ伏見12階名古屋市中区栄（伏見通りを南へ）

名古屋市ボランティア情報センター集会室です。☎052-222-5781



## 地域部会だより

### 南部会

6月21日(土) 午前10時から

#### ☆第1回例会

名古屋市女性会館第2研修室

参加者12人

今回は大橋満里子、久野ふさ子両会員のお話を中心に、なごやかに話し合いました。出席者全員何かのグループに属して活動しているため、困ったこと、常に気に掛けていることなど、お互いの気持ちがよく分かりました。

シニアライフを健やかに過ごすには、人と人との関わりがいかに大切かを、強く感じました。

<ミニコミ誌づくりについて>

9年前ボランティア講座を緑区社協センターで受けたのをきっかけに、地域の広報誌の必要性を感じ、7人で自主グループをつくり、施設ボランティアとして、社協センターの職員と一緒にミニコミ誌づくりを企画。現在は独立して「ザ・みどり」を作っている。仲間作りの大切さを感じている。(大橋さんのお話から)

<ボケ老人を抱える家族の会について>

地域で毎月1回、交流会を持って、在宅で介護をしている人達の話聞き、援助している。隣近所の人がやってあげるのではなくて、助け合うことが必要。つらいときはいつでも電話を掛けられるようになっている。(久野さんのお話から)

#### ☆第2回例会

7月19日(土) 午前10時から

名古屋市ボランティア情報センター会議室

参加者14人/男性4・女性10名

##### ①平成8年度の中部SLAの運営に参加して

\*能力のある会員の生かせないあり方、組織を変える必要があると感じた。

##### ②会員各自の本年度のめあてについて話し合う

##### ③高齢者との係わり合いで思うこと

\*住んでいる回りに高齢者がいることに気付く。高齢者だけのマップの必要を感じた。

※次回は8月30日(土) 午前10時から・東海郵政研修センター。(報告・青井久子)

### 三河部会

平成9年度三河部会第1回例会

7月5日(土) 参加者 豊田・岡崎・知立・豊明から10人

今後、どういふことをしていくかを話し合った。

8月例会で豊田市の老人施設見学を予定している。

(報告・塩野高子)

## 北 部 会

6月23日(月)午後0時半から

名古屋市総合福祉会館

懇親会

参加者 12人

今年初めての地域部会のため、5期生の歓迎会をかねて、懇親会を開催しました。

まず 自己紹介、昼食に続き、世話人を選びました。平成8年度会計報告、活動報告に続き、今年度の活動報告の検討、意見交換に入りました。決まったことは①テーマは「地域における老人介護に直面した場合の解決方法をさぐる」②生き生き教室の開催③アドバイザーとしての地域の施設見学、地域の福祉施設の勉強会などです。

尚、北部会の世話人は外山晴美(代表) 今泉治子・南谷紀美子(以上2期生) 木村秀子(3期生) 紅林綾子(5期生)の5人です。(報告・今泉治子)

7月3日(木)午前10時～12時 例会。参加者15名

\* 老 健 見 学 記

北部会では7月3日の例会で本年度テーマ③の一環として「名東老人保健施設の見学」を行いました。老健とは病院と家庭との、いわゆる中間施設として登場した、比較的新しい老人施設です。老人保健施設とは?その実態は?見学した感想を、今泉治子さんに書いていただきました。(本文8P参照)

## 尾 張 部 会

平成9年度尾張部会総会

7月8日(火)、名古屋市東別院会館

参加者 11人

前年度の活動報告と、今年度の活動テーマ及び活動内容を討議し決定しました。

テーマは「生き生き生きる」

活動内容

- ①体験しよう(9月) 車椅子に乗って町の中に出てみると、何が見えるか。
- ②海上の森ウオーキング(11月) 万博決定地の自然環境を観察し、人間と自然との共生を勉強する。協会全体にも呼びかけ、一緒に歩きましょう。
- ③福祉を学ぼう(2月) 公的介護保険、医療費改定、高齢者の運動など。(報告・小澤節子)

\*原稿の出し方を変更しました。

各部会からの報告文提出について幹事会で次のように変更になりました。

研修部会報告⇒中島衣代さんへ  
地域部会関連報告⇒塩野高子さんへ

両担当者から、SLA会報用に広報の方へ送っていただくことになります。各部会の代表者は、書記の方や原稿を書かれる方への、連絡の徹底を、宜しくお願いいたします。(係)

## シニアに関する 知ッ得コーナー



### 〔地元のホームヘルパーの活躍が本になりました〕

名古屋の「地域福祉を考える会」（野村文枝代表）の主婦たちが、これまでの活動記録をまとめた本「どうします・あなたと私の老後（名古屋の女性がとりくむ介護の社会化）」が、ミネルバ書房から出版されました。

名古屋では今なごやかヘルプ事業という名前で、在宅介護・家事援助に多くの女性が参加していますが、これを生み出す母体となったのが、この地域福祉を考える会の活動でした。ボランティア活動から住民参加型へ、さらにオンブズパーソンとしての役割まで苦労を重ねて活動を積み重ねてきた会員たち。福祉サービスは今後どうなっていくのか、行政との繋がり、公的介護保険とのかかわりは？この地方の実践だけに、多くのことを教えてください。

### 〔高齢社会いよいよ本番〕

65歳以上の高齢者の人口が、史上初めて15歳未満の子供の人口を上回ったことが、総理府の人口推計であきらかになりました。子供の数は前月より2万人減り、1949万人（総人口の15.46%、一方高齢者は5万人増えて1954万人（同15.50%）でこの一年間で約10万人の差が逆転したとか。

### 〔名古屋に「高齢者就業支援センター」オープン〕

名古屋市昭和区の市交通局御器所ステーションビルに、この7月、新しく「高齢者就業支援センター」オープンしました。おおむね60歳以上を対象に就業相談や求人情報の提供、技能講習、セミナーなどを行うそうです。また部屋があいていれば、比較的安く借りることができます。問い合わせは052-842-4691番。

### 〔「シニアガイドブック97高齢者会問題関係団体一覧」が貰えます〕

経済広報センターの発行で、高齢問題の調査や研究をしている団体を紹介した小冊子。A4版56ページ。「停年後のライフプラン」の特集もある。240円の切手（送料）を同封して〒100東京都千代田区大手町1-61大手ビル3階、経済広報センター国内広報部 電話03-3201-1412 へ。

## 〈名東老健を見学して〉

入院の必要がなく、病院を退院したものの、介護がなければ日常生活を送ることが出来ないお年寄り達…… 7月3日、私たちはそういう高齢者たちを、リハビリ等の訓練で自立して生活できるように支援する施設の一つ、「名東老人保健施設」を訪れました。

(注・名古屋市名東区大針3-118/84床・デイケア30人/協力病院・医療法人桂名会木村病院)

4月に竣工したばかりのこの施設は、入所、短期入所、デイケアの三つのサービスがあります。リハビリテーションルームをはじめ、建物全体が明るく清潔で、最新設備の浴室や常設の歯科室など高レベルのサービスが受けられるよう、行き届いた配慮がされていました。

ここは地下鉄東山線星が丘駅からバスで15分、家族が出来るかぎり頻繁に訪れることを原則にしているだけに比較的交通の便に恵まれています。いまま少し敷地にゆとりがあれば、との感想もありました。老人保健施設は、病院と家庭や施設との橋渡しをするねらいから、中間施設と呼ばれています。入所期間は原則として3か月に限定されていますが、高齢者にとって短期間の機能回復は不可能に近いケースが多いといっても過言ではありません。

また、主な費用は公的な老人医療費で賄われていますが、食費や日用品の基本的利用料が必要のため、個人の負担を強られることも確かです。

どの老健施設でも、より高度のサービスを心掛けつつ、一方でこのような入所期間や自己負担金の問題を抱えているのが現状です。

—名古屋北部会—今泉治子

### お便りコーナー



☞ 夏休みに入って最初の日曜日。朝早く目が覚め近くの公園に散歩に行く。こんな眺めのよい公園で夏休みに入ると、カードをぶら下げた子供達を連れてラジオ体操に行ったことが妙に懐かしく思い出された。そういえば、今の子供達はラジオ体操を集団でしなくなったのかしら？ 静かな公園を見てチョッピリ寂しさを覚えた。帰り道、遠う公園から柔らかなメロディが流れてきた。ふと目をやると、そこではシルバーの男性。女性が手足をゆっくり動かして太極拳に興じている。社会を動かす集団の変化、子供からシルバーへ、そんなパワーを感じた朝の散歩でした。

—尾張旭—加藤厚子

☞ 昨年度、私の住む日進市にあるボランティアセンターで広報紙を発行する為の編集員(勿論ボランティア)を募っていたので応募しました。募集人員は4名。その中の一人にSLA同期のIさんがいらしてびっくり！ 時に思いを同じくし、又、時に意見を交わしながら広報紙発行の仕事に携わって1年余が経ちました。

思わぬところでSLA精神「自助・自立の道」をささやかながら生かしつつ歩いています。

皆様方の近況は？

—日進—竹屋澄子



# 財団法人シニアネットからのお知らせ

会員の皆様からご質問のありました事柄につきまして、幹事会の了解を得て、下記の項目について財団へ問い合わせました。ご返事を戴きましたのでお知らせいたします。

7月14日現在の予定

(1) 平成9年度電話相談研修

9月上旬をメドに行う予定。財団から、直接、5期生宛に連絡がある予定。

(2) 第2回全国SLA連絡協議会を実施する。

(3) 定年退職前後の悩み110番を実施する。(1~3月の適当な日)

(4) 本年度シニアライフアドバイザー養成講座は、中部地区では行わない。

以上、これらの件につきまして、お電話でお問い合わせくださった方々への回答とさせていただきます。

なお、現在、電話当番にたずさわっておられます方は(4)の件について問い合わせがありました場合には宜しく申し上げます。



## ◎会計：会費納入のお原旨！



再々お願いしておりますが、今年度会費3000円未納の方は、振込用紙を同封致しましたので折返し手続きをお願いします。(行違いになりましたらお許しください)。係としましては入金が遅れますと大変繁雑になりますので、未納の方は、ご協力をお願いします。

(会計・浅野澄子)

## ◎地域部会用『封筒』について

平成6年度生き生き教室開催の折に寄付していただいた2千枚の定形封筒は主としてSLA通信等の発送の際に活用してきましたが、底を尽きました。そこで、今年度は、新たに、予算案に沿って印刷することになります。今年度は、居住地の地域活動をめざしておりますので、

### 『中部SLA協会』

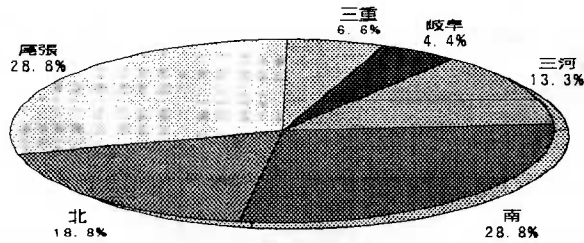
ネーム入り封筒を地域へもお渡しして、事務能率を高めていただこうと思っています。

詳細は後日代表宛にご連絡いたします。

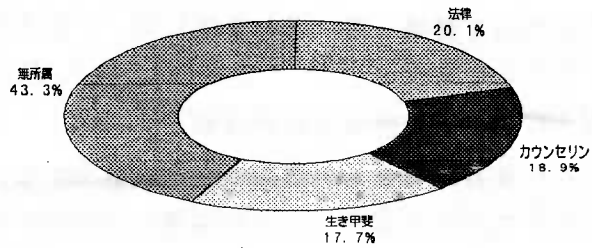
中部SLA協会  
総務委員会

〔中部SLA会員皆様の所属比率〕

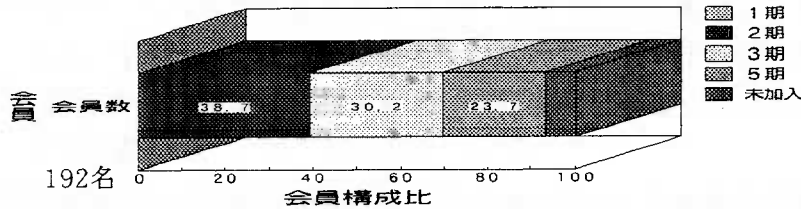
地域部会構成比



研究部会構成比



期別会員構成比



\*各所属比率をグラフにしてみました。(二神)

《編集後記》

のっぺらぼうの真っ白な“会報お化け”に追いかける夢をみました。  
原稿が集まらな～い——6月中に提出してほしかったのですが、皆様お忙しいとみえて期日までに一本きただけ。7月上旬になって、やっとぼつぼつ集まりはじめ、12日の幹事会の日には80%は、そろってほっと一息。

原稿を書くことを難しく考えないでください。話すときと同じように、人ではなく、紙に変わっただけと考えて、思いついたことからメモしてみてください。最初の一行目にこだわるとあとが続きませんよ。日時でも、予定でも何でも「このこと」と思うことから書き出してみてください。それで詰まったら、放っておいて次の内容に移ります。それでも何行かは書けています。いざとなったらそれを送ってください。お願いします。次号は10月31日発行予定です。締切りは10月4日(土)必着です。地域、研修世話人の方、お忘れなく。(の)

♪♪♪

(の)さんからべた打ちの原稿をバトンタッチされた時、これだけ入力されているのだからレイアウトなんて簡単と多寡を括ったの運の尽き。私自身、今迄、SLA通信を走り読みしていたのが脳裏をかすめ、原稿を寄せられた皆様の貴重な情報を読み過ごされる不安に、作っては消し作っては消し、何とか纏めたつもりです。是非ぜーんぶ、目を通していただけますように～。

(二神)